

「骨軟部腫瘍に対するオミクス解析をもとにした

新規バイオマーカー・治療標的の探索」へご協力をお願い

—平成2年1月1日～令和4年7月31日までに
当科において骨軟部腫瘍の治療を受けられた方へ—

研究機関名 岡山大学病院 整形外科
研究責任者 岡山大学学術研究院医歯薬学域機能再生・再建科学専攻
生体機能再生・再建学講座 整形外科学 教授 尾崎敏文
研究分担者 岡山大学学術研究院医歯薬学域運動器医療材料開発講座

准教授 國定俊之

岡山大学学術研究院医歯薬学域運動器外傷学講座	職名：准教授	氏名：中田英二
岡山大学病院 整形外科	職名：助教	氏名：藤原智洋
岡山大学病院 整形外科	職名：医員	氏名：魚谷弘二
岡山大学病院 整形外科	職名：医員	氏名：畑利彰
岡山大学病院 整形外科	職名：医員	氏名：佐藤浩平
岡山大学病院 整形外科	職名：医員	氏名：片山晴喜
岡山大学病院 総合リハビリテーション部	職名：医員	氏名：近藤彩奈
岡山大学病院 整形外科	職名：医員	氏名：板野拓人

1. 研究の意義と目的

この研究の目的は、骨軟部腫瘍の病気の本態（病態）を解明することです。この研究により骨軟部腫瘍の病態が分かれば、腫瘍の診断や治療中の経過を評価する腫瘍マーカーの開発や、新しい治療法へ結びつけることができます。

骨軟部腫瘍は希少がんといわれ、最も多い原発性悪性骨腫瘍である骨肉腫でも、年間に日本全国で100万人に1人位の発生率です。また骨軟部腫瘍は種類も多く、その病態は未だ不明な点が多いのが現状です。

一方で、近年、生命科学の分野では多くの生物における遺伝子（ゲノム）解読が達成され、その配列情報から遺伝子の機能を読み解き、さらに生命活動の仕組みを解明する研究が進んできています。遺伝子解読以降の研究（ポストゲノム研究）では、解析された膨大な塩基配列情報のデータをコンピューターで解析することで、ある生物で機能がわかっている遺伝子配列と同じ配列を別の生物が持っていれば、同様の機能を持っている可能性があることが推測できるようになってきました。このポストゲノム研究の対象としては、遺伝子（DNA）だけでなく、DNAからの転写産物（トランスクリプト）を網羅したトランスクリプトーム、転写産物としてのタンパク質（プロテイン）を網羅したプロテオーム、代謝産物を網羅したメタボロームなどが含まれます。これらを解析する分野は語尾に -omics をつけて呼ばれ、omics（オミクス）解析と呼ばれています。プロテオミクスを始めとするオミクス解析は、創薬やバイオマーカーの開発などに直結しています。

特に骨軟部腫瘍領域では、診断・治療効果判定として使用できるバイオマーカーが少ないことや、転移・再発を繰り返す難治性のものであることに対する治療方法が乏しいことから、オミクス解析により腫瘍の特性を理解し、新たなバイオマーカー、治療創薬へ応用することが期待されています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

平成2年1月1日～令和4年7月31日までに当科において骨軟部腫瘍の治療を受けられた方 400名を
研究対象とします。

2) 研究期間

令和4年10月1日～令和14年9月30日の予定です。

3) 研究方法：

平成2年1月1日～令和4年7月31日までに当科において骨軟部腫瘍の治療を受けられた方で、凍結保存された組織から核酸・タンパク質などの解析を行います。

4) 使用する試料：

研究に使用する試料として、既に保存されている組織を使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 使用する情報：

研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢，性別
- ・ 腫瘍の部位と大きさ，組織学的サブタイプおよび染色体・遺伝子解析，初回受診された時の病期分類，累積生存期間，無病生存期間，手術における切除縁，行った化学療法の具体的な内容とその効果，放射線・重粒子線療法の線量とその効果，腫瘍学的転帰，血液検査結果についての臨床情報，ならびに画像診断・病理学的情報等

6) 試料・情報の保存

本研究に使用した試料・情報は、研究終了後可及的永久に保存させていただきます。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、整形外科のホームページおよび掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

7) 情報の保護

調査情報は、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生体機能再生再建学講座整形外科の医局で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。可及的永久に保存する予定です。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申出ください。

また、この研究の評価は多数の検体による解析で行われるため、患者さんごとに得られる結果は不確定であり、個人情報の開示は行いません。

調査結果は、個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

9) 遺伝情報の開示

この研究の評価は多数の検体による解析で行われるため、患者さんごとに得られる結果は不確定であり、個人情報の開示は行いません。

調査結果は、個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としますので、令和4年12月31日までの間に下記の連絡先もしくは整形外科外来までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 運動器医療材料開発	國定 俊之
<u>岡山大学病院 整形外科</u>	藤原 智洋
<u>岡山大学病院 整形外科</u>	<u>板野 拓人</u>

電話：086-235-7273 ファックス：086-223-9727